

お知らせ
します

広報紙モニターの評価と意見

市民とともにもじつくる 広報むろろらんを目標します



親しまれる「広報むろろらん」づくりを目指します。
市民の声を取り入れるため、広報紙モニターを
設置しました。より良い広報紙づくりを期待す
る声が寄せられています。

「広報むろろらん」はみんなの情報紙です。暮らし
に役立つ情報をわかりやすく見やすい紙面で伝
えています。

情報提供の充実を目指して 広報紙モニターを設置

室蘭市の広報紙「広報むろろらん」
は、市が主催する行事や市内の出来
事などを市民にお知らせするため、
毎月発行しています。1カ月平均16
ページという限られたスペースの中
で、わかりやすい情報提供に努めて
います。

春夏秋冬の季節に合ったタイムリ
ーな情報提供を心がけ、表紙写真は
「躍動」「温かさ」などを紙面から
伝えようと取材し写真を選択してい

ます。特集記事では、まちの動きや
市の事業をできるだけわかりやすい
表現で親しまれる内容にしようと取
り組んでいます。お知らせ記事や人
物紹介も同様です。

昨年5月、読者である市民の意見
を取り入れ、より良い内容を目指す
ため「広報紙モニター」を設置しま
した。

21人のモニターが 内容を5段階で評価

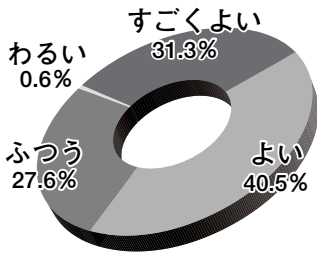
広報紙モニターは、市の事業にボ
ランティアで参加していただく「行
政パートナー制度」の「無償パート
ナー」として活動しています。「広
報むろろらん」を編集している市民対
話課から、モニターの皆さんに毎月
調査票を郵送し、表紙、特集、お知
らせ記事などのページごとに5段階
の評価と感想や意見を記入してい
だいています。高校生から70歳代ま
での21人（男性7人、女性14人）で、
年齢、職業はさまざまです。

寄せられる意見から 広報紙の姿が 見えてくる

モニターの皆さんから寄せられた
意見の中には「イベント情報などを
活用している」「紹介している施設
に行ってみた」「紹介している施設
にたせている」との意見をいただく一方
「表現が固い」「内容が難しい」と
の意見もあります。市のお知らせは、



写真・イラスト



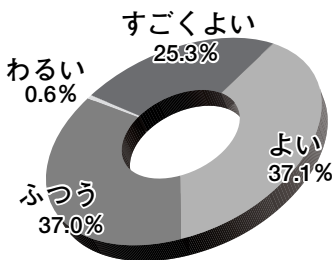
71.8%が「すごくよい・よい」の評価で、5段階平均で4.0でした。表紙写真が楽しみという意見をいただきました。今後も、躍動感のある温かい写真の掲載に努めます。

モニターからの声

表紙は明るく楽しい写真で楽しみにしている。人物写真は迫力がある。複数の組み合わせ写真は欲張りすぎでは。

表紙写真への関心が高く、良い評価をいただいています。季節感とタイムリー性を大切に、親しみやすい写真を掲載するよう取り組んでいます。複数の写真を用いる時はねらいをはっきりさせるよう心がけます。

記事内容



62.4%が「すごくよい・よい」の評価で、5段階平均は3.9でした。「文章が固い」という意見をいただきました。制度や法律の関係で固い表現になる傾向がありますが、わかりやすい表現に取り組みます。

モニターからの声

文章の表現が固く、用語が難しい。行事の内容をもっと詳しく教えて。

市の事業や予算などの特集では、「言葉が難しくわからない」という意見が寄せられました。難しい用語には解説をつけるなど、わかりやすい表現を心がけます。

また、限られたスペースの中で、できるだけ多くの情報提供に努めているため、やむを得ず文章を短かくして必要最小限の内容にしています。ご理解ください。



広報紙モニターの

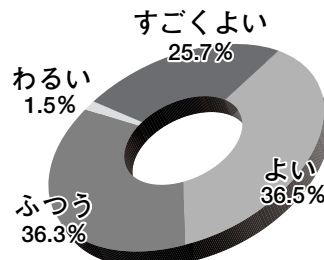
声を紹介

写真を生かしたわかりやすい内容・紙面が求められています。

写真やイラストが効果的に使われ、見やすく、わかりやすい記事内容、レイアウトになっているかについて、5段階で評価（5すごくよい、4よい、3ふつう、2わるい、1すごくわるい）していただいています。

これまでの評価の平均値をグラフで表示し、主な意見をお知らせします。

レイアウト



62.2%が「すごくよい・よい」の評価で、5段階平均は3.9でした。「ごちゃごちゃして見にくい」という意見もありました。文字のアクセントと写真、イラストを効果的に配置し、見やすい紙面づくりを行います。

モニターからの声

イラストや写真をもっと使って。文字を大きくして。文字が見にくい網かけ処理がある。

読みやすく、見やすい紙面を求める声が寄せられています。特集記事の文字の大きさは、平成16年から一回り大きくしています。文字を詰め込み過ぎず、イラストや写真を使って視覚に訴えるレイアウトを行います。

※平成18年度の広報紙モニターの募集は4月号でお知らせします。

《詳細》市民対話課 ☎ 2194

制度や法律に関係するものが多く、「固い」内容になる傾向がありますが、今後もわかりやすい表現にするよう取り組みます。

また「写真やイラストを使ってわかりやすく伝えて」という意見もありました。記事内容を的確に伝えるには、写真やイラストを効果的に配置し「文字ばかり」にならないよう注意します。

「毎月届くのが待ち遠しい」「そんな声が届く」「広報むろらん」を目指します

広報紙モニターの皆さんから寄せられる意見は、市民生活に役立つ情報発信を期待する声として受け止めています。限られた紙面の中で、行政情報からまちの話題にわたる多様な市民ニーズに 대응していくことを目指し、適切に情報提供することに取り組んでいきます。

現在の「広報むろらん」は、昭和23年に第1号を発行し、今月号でちょうど90号になります。創刊以来58年の歴史は「暮らしとまちの理解に役立つ内容」を市民へ情報提供してきた毎日の積み重ねです。

「毎月届くのが待ち遠しい」。そんな声が届く「広報むろらん」になるよう、今後も、モニターや市民皆さんの声を大切に、生き生きとした写真、わかりやすい記事、見やすいレイアウトによる「広報むろらん」づくりに努力していきます。